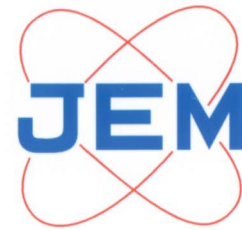


2026年5月14日

2024-2026年度 JEMグループ中期経営計画 (2025年度進捗状況)



日本電子材料株式会社

経営理念／経営方針

2025年度の振り返り

市場動向の予測

2024-2026年度中期経営計画

株主還元(配当方針)

中期経営計画の達成に向けて

成長に向けた取り組み

経営理念

日本電子材料株式会社並びにグループ各社は、人類に幸福をもたらす技術の開発と製品化により社会に貢献する

経営方針

【透明性のある企業活動】 善良な企業市民として、法令及び規則の遵守と、倫理観をもった行動により、透明性のある企業活動を行います。

【新たな価値の提供】 顧客満足と社会発展へ貢献するために、現状にとらわれることなく、先を見据えた技術開発と、絶え間ない品質向上及び納期短縮に取り組み、社会に新たな価値を提供します。

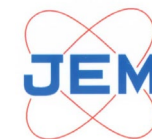
【グローバルな事業展開】 世界において親しまれ信頼される企業であるように、市場の変化とニーズに適応したグローバルな事業を展開します。

【利害関係者の尊重】 株主、顧客、取引先、従業員など、当社に関わる全ての方々とのより良い関係の構築とともに事業を発展するよう、利害関係者を尊重します。

【地球環境の保護】 私たち一人ひとりの行動と心がけが大切であるとの認識のもと、環境に配慮した企業活動を行うことにより、地球環境を守ります。

Your Probing Partner

2025年度の振り返り



■2025年度は、連結売上高・経常利益ともに、昨年度を上回り、創業以来の過去最高を更新する結果となりました。

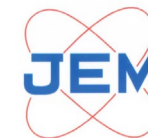
■背景として、非メモリー向けプローブカードは需要が振るわなかったものの、メモリー向けプローブカードは、更なる旺盛な需要を背景とした設備投資による生産キャパシティ及び生産性の向上をもとに、先端半導体用を中心に国内外に高付加価値製品の拡販を推進したことによります。

単位：百万円

	2024年度	2025年度		
	実績	2/6予想	実績	増加
連結売上高	23,829	28,100	29,366	+1,266
連結経常利益	4,640	6,200	7,177	+977

Your Probing Partner

市場動向の予測

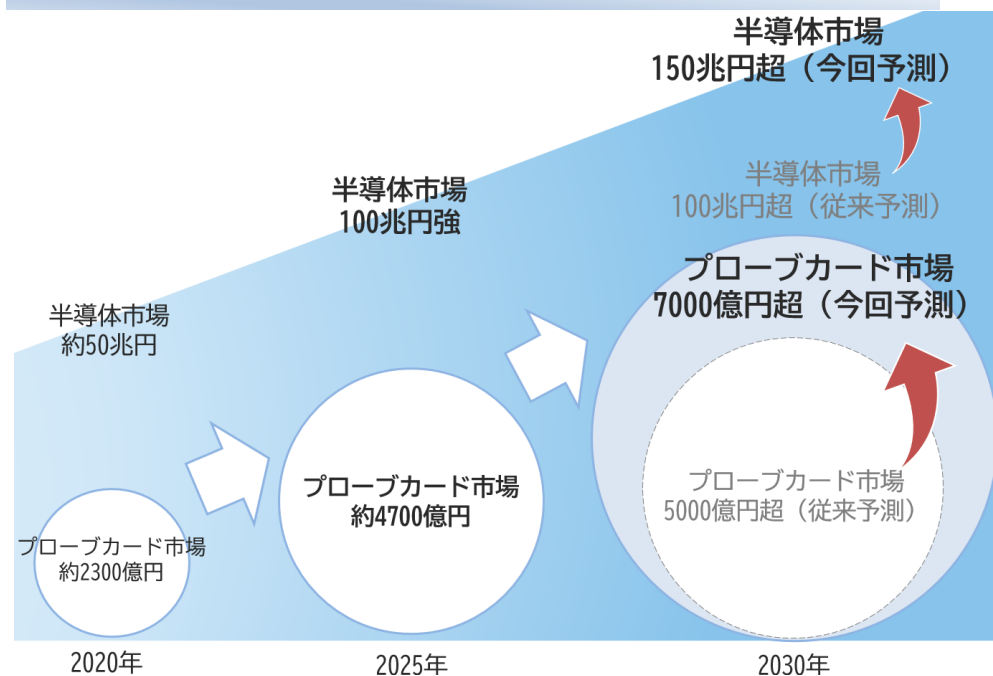


半導体市場は、データセンター向けや生成AIの画像処理半導体や広帯域メモリー(HBM)等の先端半導体の旺盛な需要を主な背景として、更なる成長が予想されており、メモリーメーカー各社では新工場の建設計画が発表されるなど、更なる増産が図られています。

この市場環境のもと、2025年の半導体市場は100兆円強、プローブカード市場は約4700億円まで拡大しており、2030年には半導体市場は150兆円超(従来予測は100兆円超)、プローブカード市場は7000億円超(従来予測は5000億円超)と更なる拡大を予想しております。

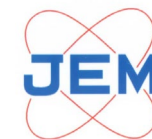
米国の通商政策の動向や、中東情勢など地政学的なリスクによる不透明感はあり、現状の直接的な影響は軽微と見込んでおりますが、これらの直接的、間接的な影響については引き続き注視してまいります。

半導体市場・プローブカード市場の成長見通し



出所：複数のデータを元に当社予測にもとづき記載。
なお、2030年市場予測は、USドルを日本円に換算しているため、為替相場の変動により増減する場合があります。

2024-2026年度中期経営計画



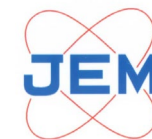
■更なる拡大が予想される市場動向と、メモリー向けプローブカードの更なる旺盛な需要に向けて、より積極的な設備投資を行い、先端半導体用を中心に国内外に高付加価値製品の拡販を進めることを背景として、2026年度予想は、連結売上高33,000百万円（当初の中計目標は30,000百万円）、連結経常利益7,300百万円（当初の中計目標は5,000百万円）といたしました。

単位：百万円

	2026年度		
	中計目標	5/14予想	増加
連結売上高	30,000	33,000	+3,000
連結経常利益	5,000	7,300	+2,300

Your Probing Partner

2024-2026年度中期経営計画



経営指標

常に連結経常利益率10%以上、
株主資本利益率 (ROE) 10%以上

2026年度
目標

売上高

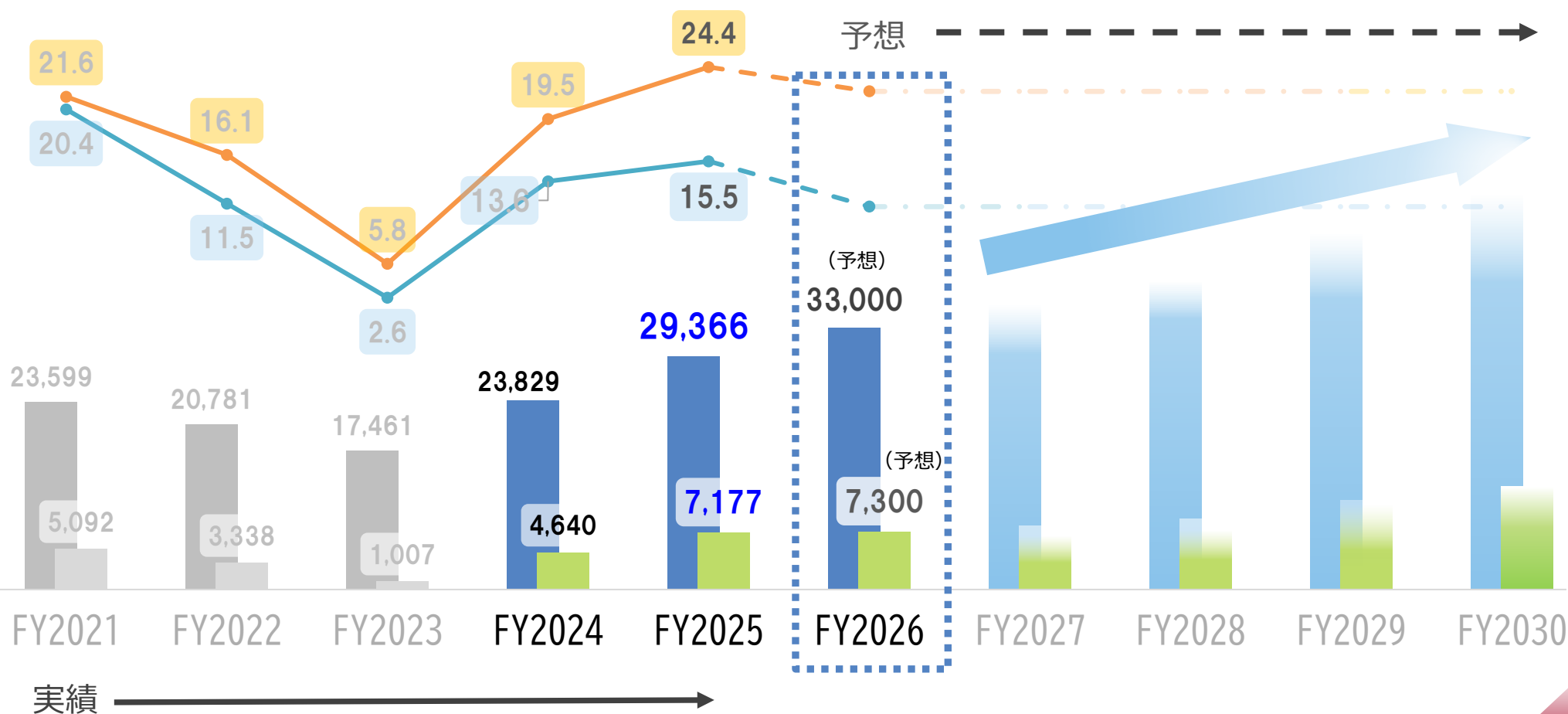
33,000百万円

経常利益

7,300百万円

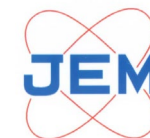
(単位：百万円) ■ 売上高 ■ 経常利益

(単位：%) — 連結経常利益率 — ROE



Your Probing Partner

2024-2026年度中期経営計画



単位:百万円

		2024年度		2025年度		2026年度(予想)
設備投資	3か年累計予想額 ()内は当初予想に対する増加額	8,500		11,500 (+3,000)		14,882 (+6,382)
	単年度	計画	実績	計画	実績	計画
		4,400	4,015	4,200	3,866	7,000
研究開発		1,900	1,538	2,000	1,681	2,200
減価償却費		1,100	1,196	1,400	1,427	1,800

■2025年度は、既存工場である本社工場、三田工場及び熊本事業所に対し、先端半導体用を中心としたメモリー向けプローブカードの生産キャパシティ強化向け等に積極的な設備投資を行いました。

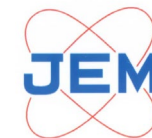
■2026年度は、需要が旺盛なメモリー向けプローブカードを中心に生産キャパシティ強化、生産合理化へ向けて、既存3工場への設備投資を一層推進するとともに、新設する尼崎工場※への投資を開始し、今後の更なる需要増加へ備えてまいります。

(※2026/2/6公表時点では、新工場の名称は「本社第2工場(仮称)」としておりましたが、今後は『尼崎工場』と公称いたします。)

■以上の市況を踏まえた投資計画の強化により、2024-2026年度の設備投資の累計予想額につきましては、本中期経営計画の策定時(2024/5/14公表)の8,500百万円から6,382百万円増加の14,882百万円へ修正いたしました。

Your Probing Partner

株主還元(配当方針)

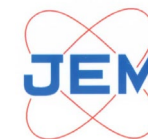


当社は、株主の皆様に対する「安定的な利益還元」を重要な経営方針の一つとしております。

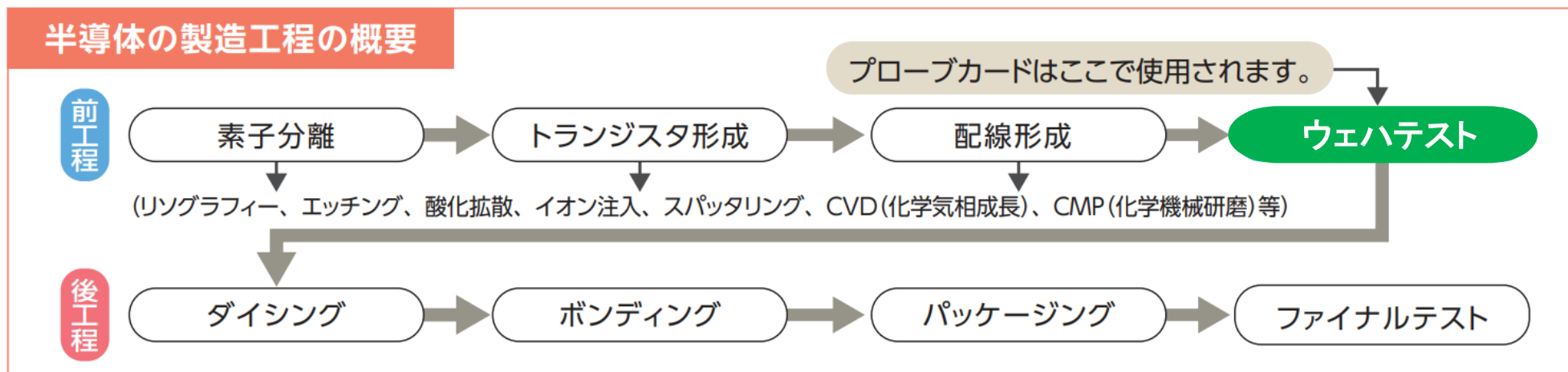
2024-2026年度中期経営計画においては、設備投資と研究開発を中心に「将来に向けた成長投資」とのバランスを取りながら、株主の皆様へ安定的・継続的かつ利益に見合った配当を実施する方針です。

本方針を踏まえ、2025年度につきましては、連結業績を踏まえつつ、将来に向けた成長投資を勘案し、中間配当は30円、期末配当は50円の年間合計80円(期初予想は中間配当25円、期末配当25円の年間50円)といたしました。

中期経営計画の達成に向けて

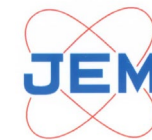


プローブカードは、半導体製造のウェハテストで使用され、その市場は半導体市場とともに更に成長すると予想しており、JEMグループは、顧客ニーズに応えるプローブカードの開発と供給を社会的使命として、積極的な投資による製品力と生産キャパシティの向上により更なる発展を目指しています。



Your Probing Partner

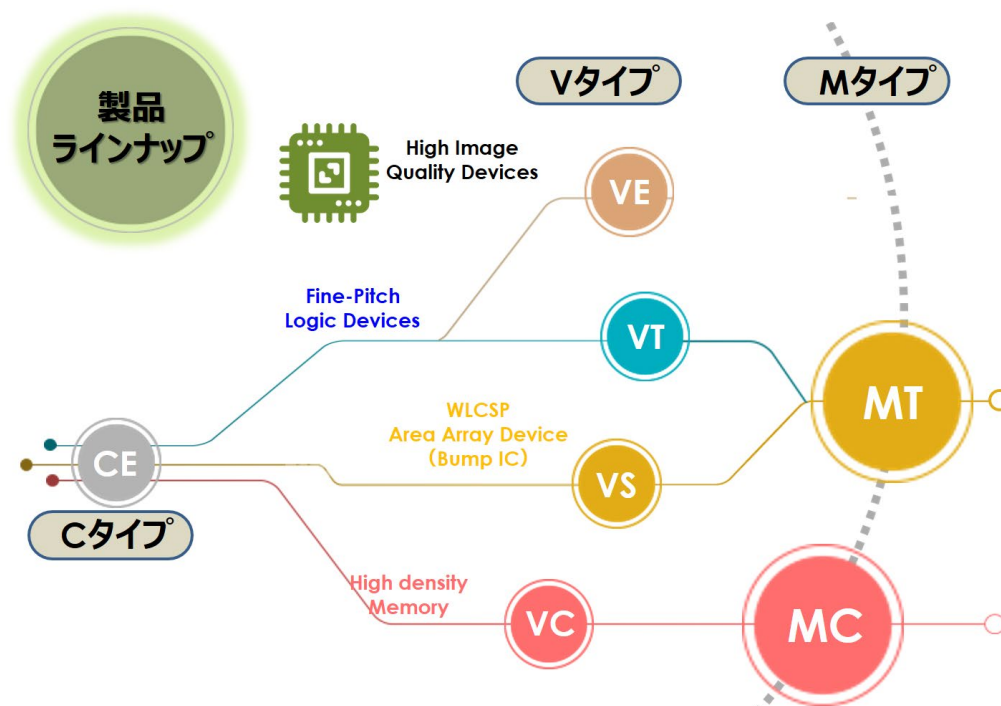
中期経営計画の達成に向けて



このような事業環境のなか、JEMグループは、拡大する市場環境を支え、市場以上の成長を目指す2024-2026年度の中期経営計画を推進しています。

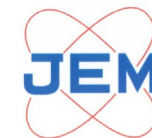
プローブカードには、半導体の進歩とともに微細化・高密度化、高耐電流特性、高周波特性等の技術進化が求められます。

JEMグループは、技術開発力と蓄積した知見をもとに、MEMS技術を活用したMタイプを主力製品として、開発投資による一層の製品力の向上により顧客ニーズに応えるとともに更なる発展を図っております。



Your Probing Partner

成長に向けた取り組み



尼崎工場の新設

■2026/2/6に公表しました通り、更なる需要増加が見込まれるMタイププローブカードの生産体制及び生産効率の強化、並びに次世代半導体向けプローブカードの開発推進により、顧客需要への対応力を向上させるため、尼崎工場を建設することを決議いたしました。

■Mタイププローブカードの生産において、既存の本社工場はプローブの生産、三田工場はST(スペーストランスフォーマー)基板の生産、熊本事業所はアッセンブリをそれぞれ担っているところ、尼崎工場はMタイプ用プローブ等の開発・生産の強化を図るものです。

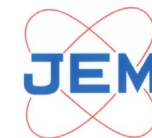
(尼崎工場 完成予想図)



名称	尼崎工場
所在地	兵庫県尼崎市
竣工予定時期	2028年8月
建築面積	約3,000m ²
延床面積	約8,000m ²

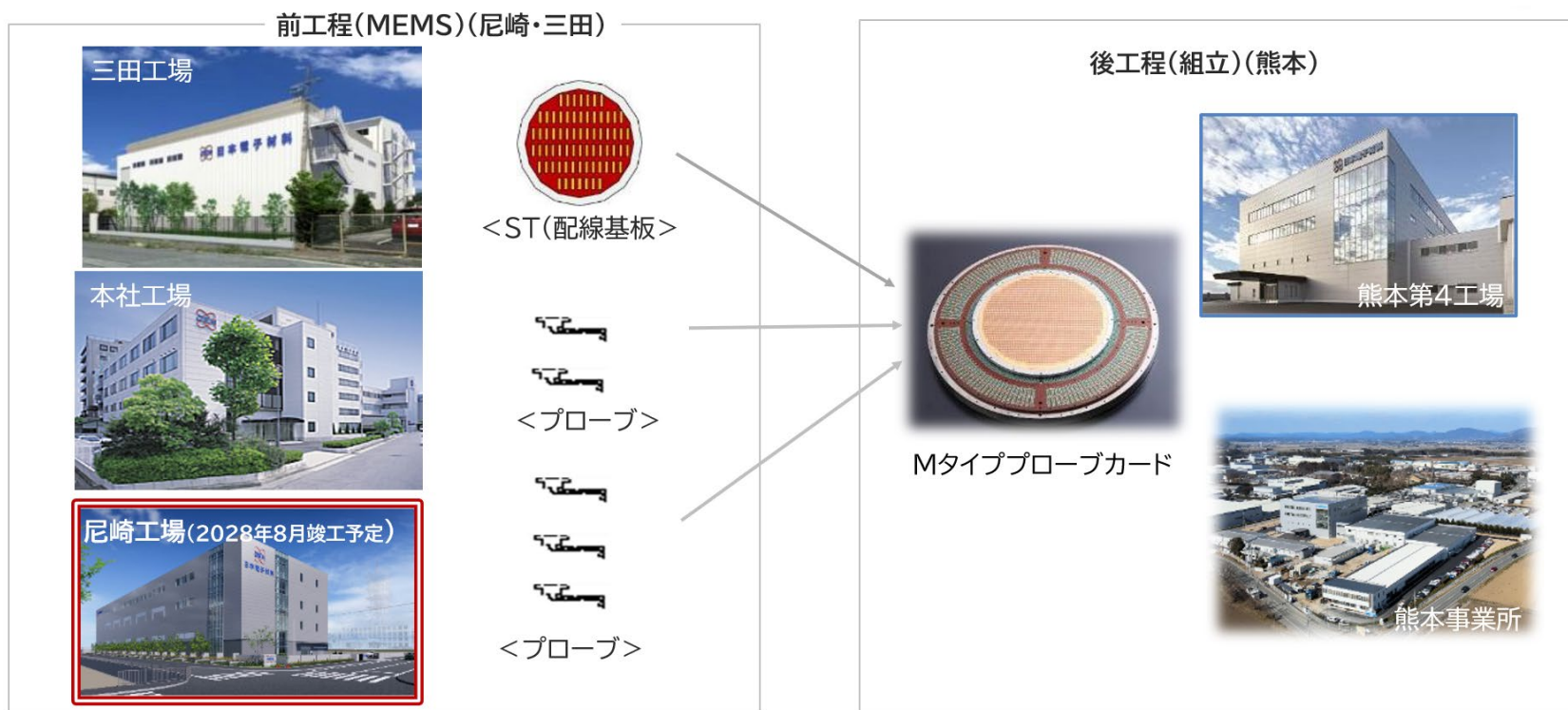
Your Probing Partner

成長に向けた取り組み



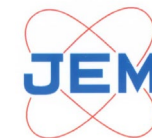
設備投資と生産体制強化

■ 尼崎工場への投資予定額約125億円に対して、2026/2/25に決議しました公募増資により調達した約122億円全額を尼崎工場への投資に充て、既存の本社工場、三田工場及び熊本事業所への投資は自己資金及び借入金を充て、これら投資の相乗効果によって生産体制、生産効率、顧客需要への対応力を高め、更なる企業価値の向上に努めてまいります。



Your Probing Partner

成長に向けた取り組み



メモリー分野

生成AIの普及をはじめとして、データランザクションは増加の一途を辿っており、メモリーデバイスの重要性がさらに高まっています。

当社グループは、得意とするメモリー向けMタイププローブカードの製品力を一層強化し、生産キャパシティの拡充を進めることで、市場のニーズに応えてまいります。

ロジック分野

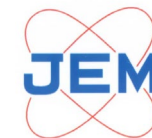
成長著しい生成AIを支える先端ロジック分野では、チップレット化が進むことによりKnown-Good-Die保証の為にウェハテストの重要度が一層高まってきます。

プローブカードにおいては、更に広いプロービング領域・高速化などの要求も高まってきます。

当社グループは強みであるメモリー分野で培った300mm一括コンタクト技術・高温プロービング技術をロジック分野向けに横展開し、市場を支えてまいります。

Your Probing Partner

成長に向けた取り組み



DX投資

当社では、DX推進専門部署を中心に、自社専用生成AIの活用、高度な情報セキュリティ対策、外部専門機関との連携を推進しております。

業務の合理化・省力化に加え、技術情報・知的財産を適切に保護しながら、データ活用による付加価値創出と競争力強化に向けた投資を継続しております。

人的投資

人財育成の専門部署を中心に、社内教育体制の強化と外部教育機関の活用を通じ、専門性の高度化と次世代人財の育成を推進しております。

また、組織診断サーベイを通じて把握した課題に対し、職場環境の改善や人事制度の見直し等の施策を継続的に実施し、従業員エンゲージメント向上と組織活性化に取り組んでおります。

サステナビリティ

当社では、経営理念・経営方針のもと、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、サステナビリティ委員会を中心に各種取り組みを推進しております。

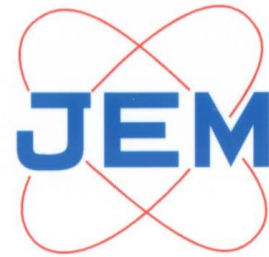
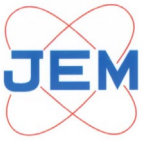
テーマ別に設けた実行組織により、環境負荷低減、人財育成、地域社会との共生等を推進するとともに、熊本県南小国町における植樹活動「JEMの森」を実施するなど、地域社会との連携を通じた持続可能な社会づくりに取り組んでおります。

Your Probing Partner

将来の見通しに関する記述について

本資料で記述されている予想値および計画値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績等は記述されている数値とは異なる結果になる可能性があることをご承知おきください。



Your Probing Partner

Your Probing Partner